

「解き直し」は整理整頓から

今朝、テスト返しの授業を参観しました。テスト返しはいつの時代も盛り上がります。喜ぶ生徒、落ち込む生徒、点数を教え合う生徒、得点をひた隠しにする生徒、すぐに正答を書き込もうとする生徒……テスト返しの光景は「学校ならではの」ものであり、子どもらしさがストレートに表れています。

私がその教室に入っていたのは、テスト返しが終わろうとしている時でした。「く」が付いた解答欄には正答が朱書きされました。中には早々とテスト用紙を片づけてしまっている生徒もいました。このクラスにはいないようでしたが、テストをもらうや否や、「二度と見たくない」と言わんばかりに、机の奥に突っ込んで現実逃避する生徒が過去にはいました。

しかし、ここからです。ここからが本当の勉強なのです。緊張してテストに向かい、だれもが一点でも多く得点できるように取り組んだテスト。結果が返ってきたことにより、どの問題が自分の力でできて、どの問題ができなかったかがはっきりしました。その後のあなたのテストはどんなになっていますか。ずいぶん時間が空いてしまいました。三月十日のメッセージの最後に書いた「解き直し」というのはここからスタートなのです。これまでに取り組んだあなたのテスト（単元テスト、実力テスト、期末テスト、小テスト等）はどうなっていますか。再びそのテストに向かい合うことはありますか。もう一度挑戦しようと思ったら、すぐに取り出すことができますように保管されていますか。実はテストに限らず、ワークやプリント類も同じです。一度解答したら二度目はありますか。一通りやったということだけで、終わりとしていませんか。

一度しか解かない。二度目をやろうとしても、どこにあるかわからない。やり切って提出したら終了。こういう扱いをしている場合、いくら勉強に時間をかけても力は付きません。部活で言うと、練習試合をやって、終わったと同時に、次の練習試合に期待しているだけです。

そこで大切なのは、解いた跡を必ず保管しておくことです。二回目三回目の「解き直し」ができるようにスタンバイしておくことです。あなたの机の中やカバンの中、ロッカーの中、はたまた教科書やファイルのページの間は、どうですか。テストやプリントがつぶれたまま挟まったままではありませんか。テストやプリントの保管の仕方は、学力と大きな関係があります。そこをおろそかにしては、なかなか力は付きませんからね。そういう意味でも整理整頓を心がけることが必要です。

(三月二十三日 記)

